

大学教育再生加速プログラム採択シンポジウム

「国際バカロレアが示唆する高校教育・大学入試」開催要項

〈趣旨〉

我が国の学校教育は、従来の知識・技能を教える教育から、自ら進んで考え、判断し、多様な人々と協働して問題を解決する資質や能力を育むための教育に、大きく転換しようとしています。そのような資質や能力を育むための指導や評価法には、教育プログラムとして高く評価されている国際バカロレア（IB）教育から多くのヒントを取り入れられると考えられます。そこで、本シンポジウムでは、「国際バカロレアが示唆する高校教育・大学入試」をテーマに、国内外のIB校において、実際に教科教育を実施されている教員の方々をお招きし、今後の高等学校教育と大学入試の向かう方向について考えて行きたいと思えます。

海外からは、国際バカロレア日本語科目教員・同試験官である吉田孝氏をお迎えし、講演いただきます。次に、日本の1条校として早くから国際バカロレア機構からIB校として認定され、先進的な教育を実施されている立命館宇治中学校・高等学校より、久保敦氏・小澤大心氏をお招きし、国際バカロレアのコアカリキュラムであるTOK（Theory of Knowledge）やCAS（Creative, Action and Service）についての講演及び事例報告をいただきます。続いて、IBディプロマ・プログラムの一部科目の授業と試験・評価を日本語で実施するデュアル・ランゲージ・ディプロマ・プログラムを導入している沖縄尚学高等学校から宮城直人氏に、デュアル・ランゲージ校の実態について報告をいただきます。その後、本学教員より、日常の社会問題などをTOK流に分析するワークブックの作成について報告し、さらに、数学の教科を例に挙げ、IBディプロマ・プログラムと大学での指導内容の共通事項などについて報告いたします。最後に、本学教員とIB国際バカロレア教育に携わる各関係者とパネルディスカッションを行うものです。

〈日時〉 平成28年10月11日（火） 13:00～17:00

〈会場〉 岡山大学創立五十周年記念館

〈定員〉 200名程度

〈対象〉 高等教育関係者，国内IB校関係者，県内高等学校関係者

〈内容〉 別紙チラシのとおり

〈主催〉 国立大学法人岡山大学 アドミッションセンター

〈参加費〉 無 料